

平成30年5月18日-19日出水の概要 雄物川上流 《5月23日時点》

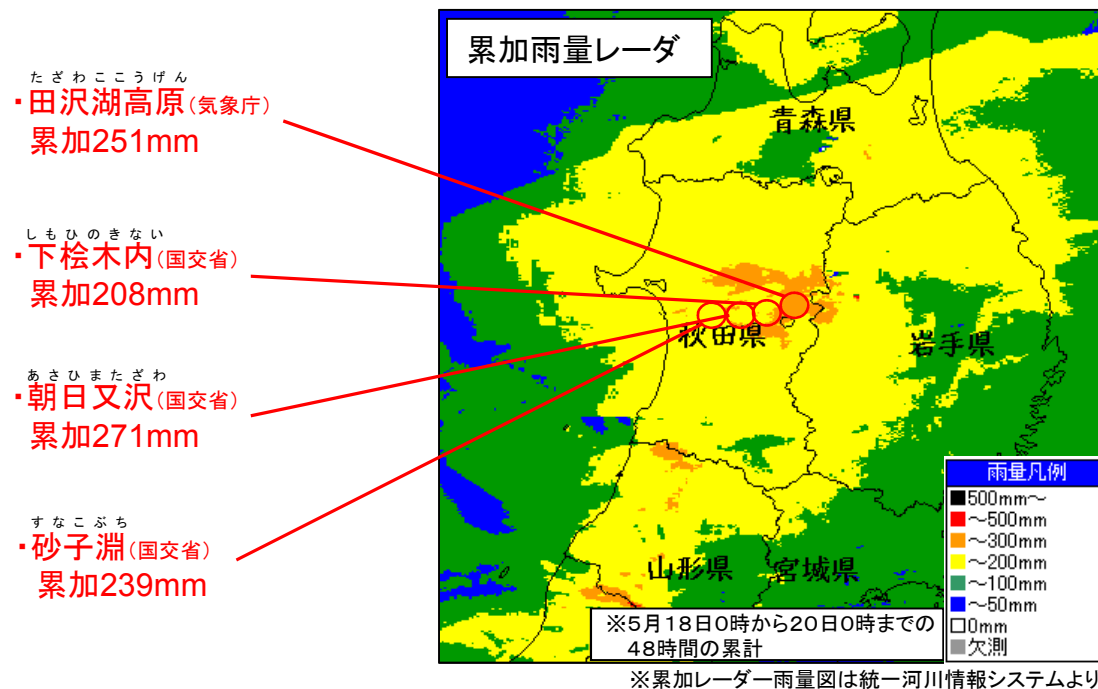
《ポイント》

- 5月期において観測史上最大の雨量を記録
- 5月期において過去50年で第1位の水位を記録
- 水防団・防災エキスパート・地元企業等の活動
- リエゾン活動、ホットライン・緊急速報メールの実施
- 排水ポンプ車の出動により、浸水被害を軽減

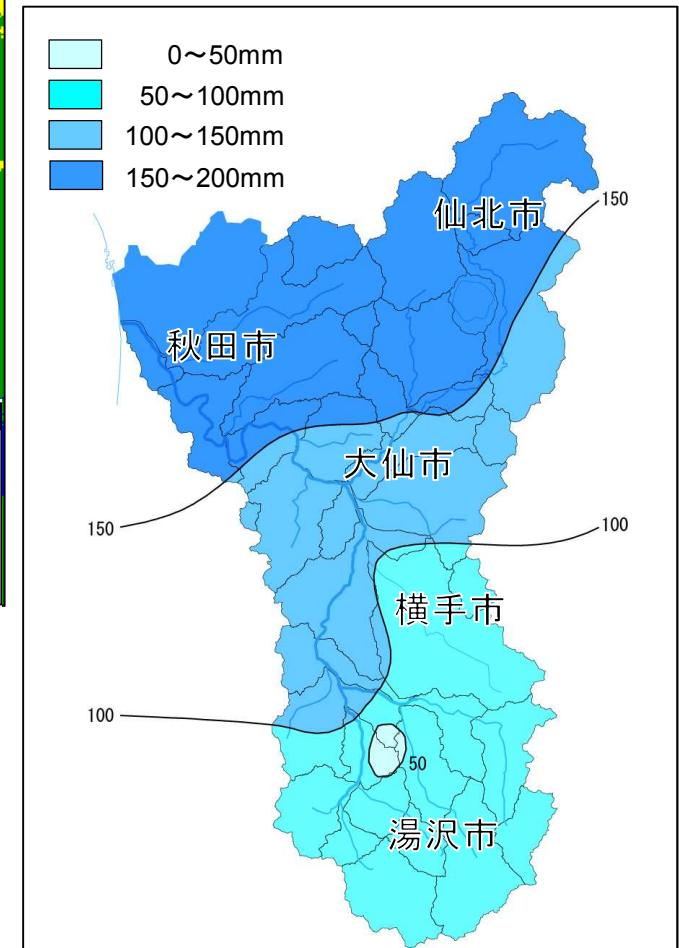
速報版に付き、今後情報が変更となる可能性があります。

平成30年5月18日-19日出水の概要

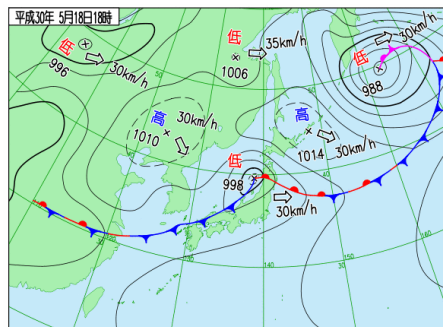
- 前線の影響により、雄物川流域では5月18日の0時頃から非常に激しい雨が降り始め、特に秋田市と仙北市において降水量が多く、多いところで**累加雨量200mmを超える**大雨となった。
- 砂子淵雨量観測所(国交省所管)では24時間雨量141mm、朝日又沢雨量観測所(国交省所管)では同158mmを記録し、**5月期の降雨では観測史上最大**となる雨量となった。



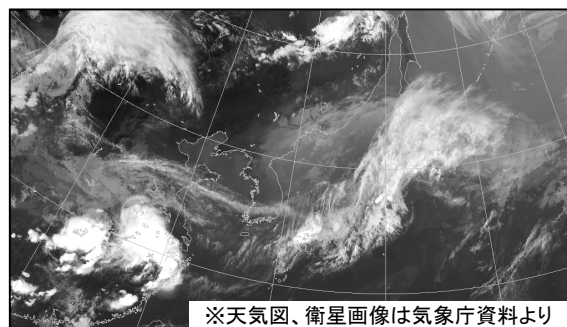
等雨量線図(雄物川流域、2日雨量)



天気図(5月18日18時頃)

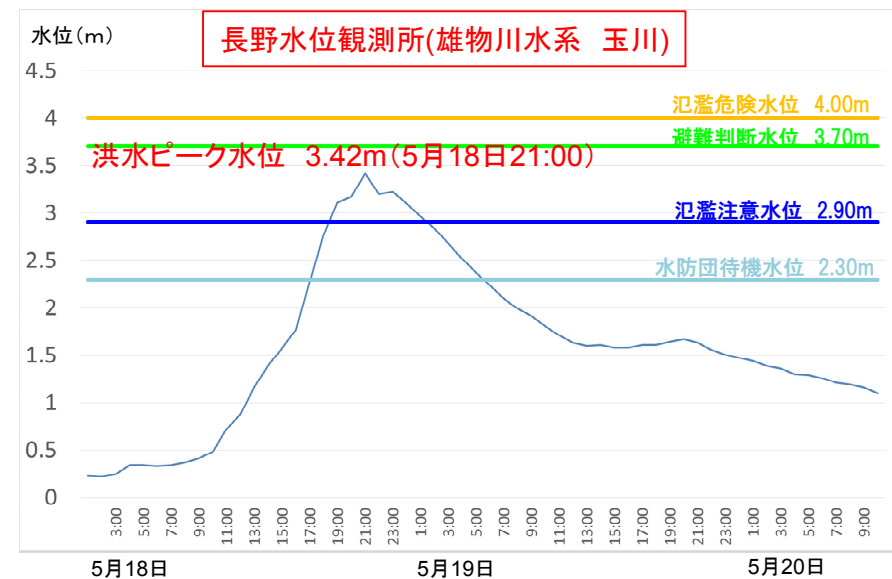
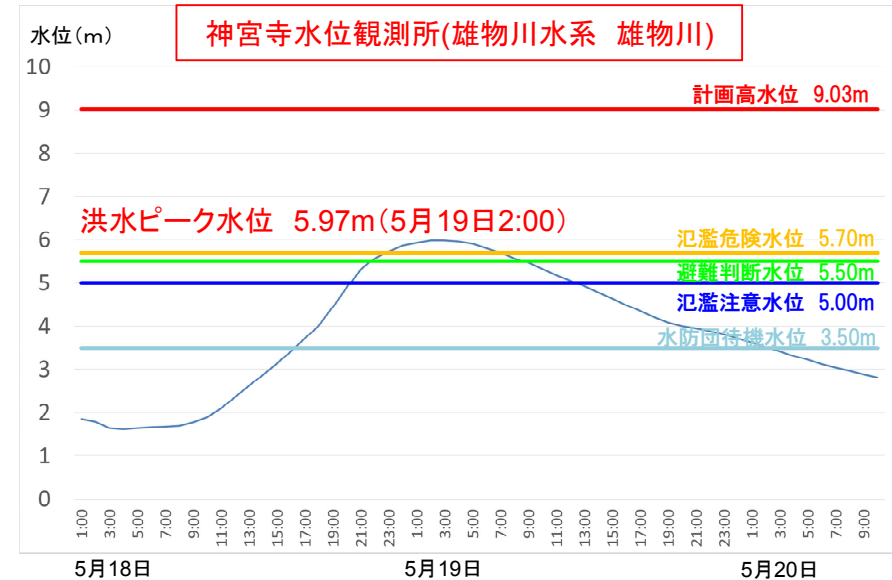


衛星画像(5月18日18時頃)



平成30年5月18日-19日出水の概要

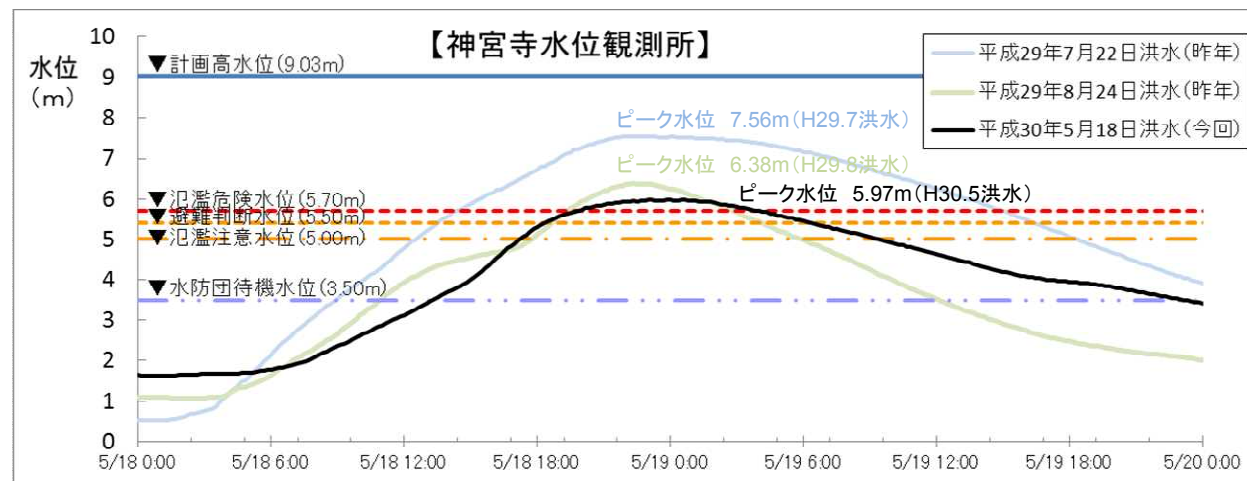
- 今回の大雨により、大仙市の神宮寺水位観測所では**氾濫危険水位を超過**、長野水位観測所では**避難判断水位に迫る**大きな出水となった。



※水位の数値は正時データ

5月期において過去50年で第1位の水位を記録

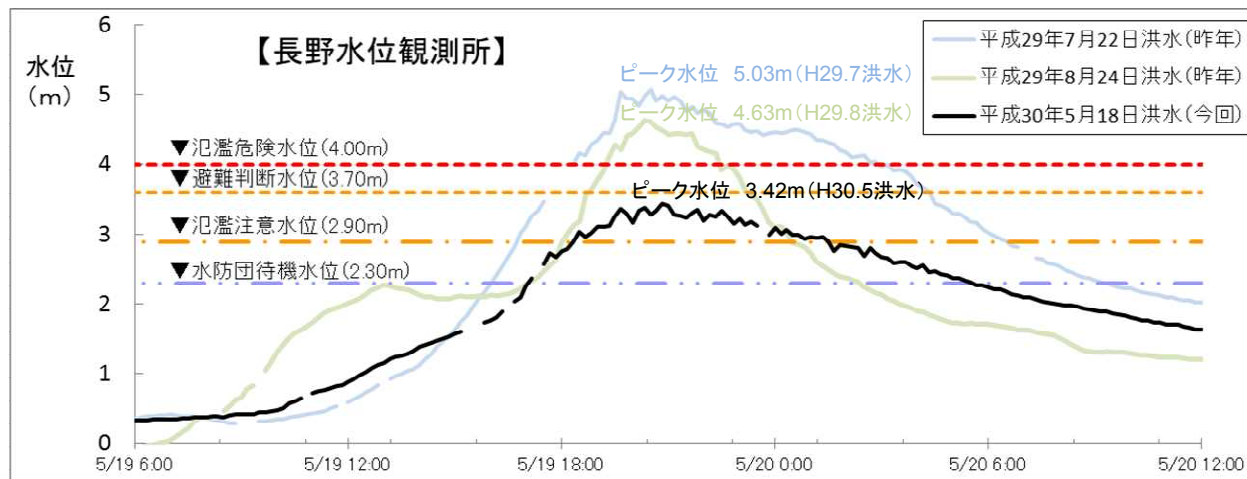
- 神宮寺水位観測所、長野水位観測所では、5月期において過去50年で第1位の水位を記録した。
- 神宮寺水位観測所では、5月期において過去50年で水防団待機水位を超えたのは2回のみであり、氾濫注意水位を超えたことはなかったが、今回は氾濫危険水位を超え、昨年の8月洪水に迫る水位を記録した。



5月期の過去50年における上位5洪水

【神宮寺水位観測所】

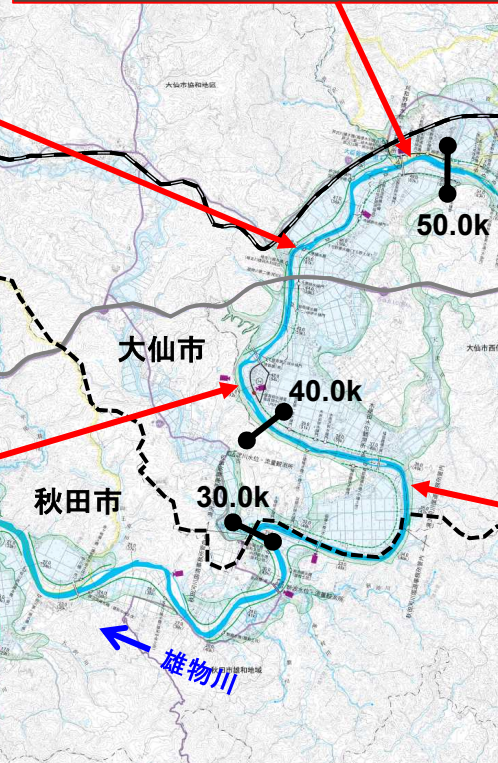
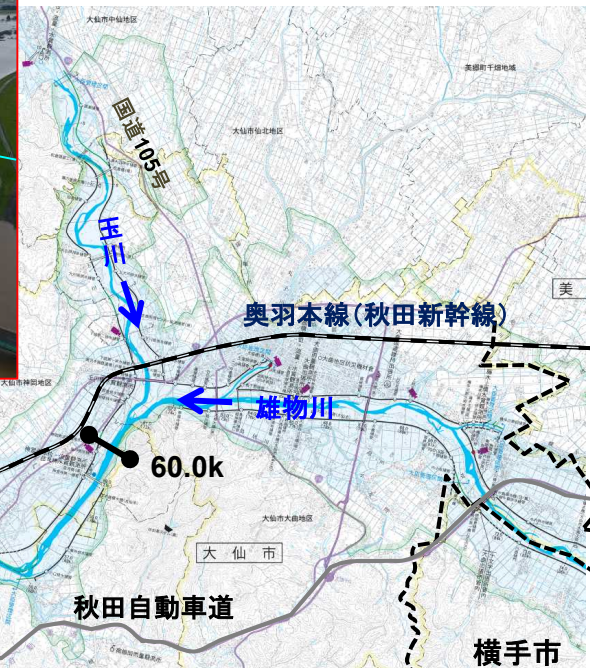
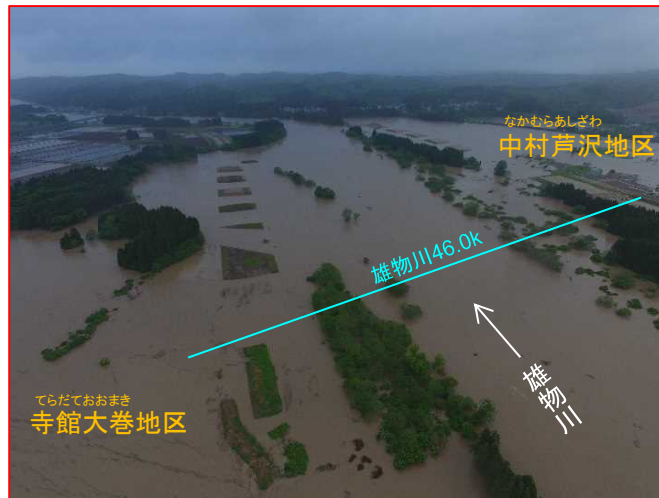
順位	発生年月	水位(m)
1	H30.5.18洪水	5.97
2	H4.5.8洪水	4.12
3	H9.5.8洪水	3.77
4	H8.5.9洪水	3.42
5	H8.5.2洪水	3.39



【長野水位観測所】

順位	発生年月	水位(m)
1	H30.5.18洪水	3.42
2	H9.5.8洪水	3.12
3	H4.5.8洪水	2.26
4	H5.5.13洪水	1.83
5	H8.5.2洪水	1.51

雄物川の出水状況



水防団・防災エキスパート・地元企業等の活動

＜地元企業、防災エキスパート、コンサルタント、水防団の活動＞

- 地元企業による河川巡視、防災エキスパート・コンサルタントによる現地確認等を実施。
- 自治体においては水防団が出動し、河川状況を把握。



▲ 地元企業による河川巡視



▲ 防災エキスパートによる
河川管理施設の現地確認



▲ コンサルタントによる
UAV現地調査

＜地元測量業者の活動＞

- 地元測量業者による浸水状況調査、洪水痕跡調査等を実施。



▲ 地元測量業者による浸水状況調査



▲ 地元測量業者による洪水痕跡調査



リエゾン活動・ホットライン・緊急速報メール

＜リエゾン活動の実施＞

- 自治体と「災害時の情報交換に関する協定」を締結しており、今回の災害にあたり、湯沢河川国道事務所からリエゾン（災害対策現地情報連絡員）を大仙市へ派遣。
- 2名のリエゾンを派遣し、被害状況などの情報共有や市の要請などを伝達。
- リエゾンを通じて雄物川の水位情報・氾濫状況等を大仙市へ伝達。



▲大仙市災害対策本部において老松市長と情報共有

＜ホットラインの実施＞

- 市長等と湯沢河川国道事務所長の間で情報交換（ホットライン）を実施。（合計9回）

5月18日	16:30	【湯沢河国⇒大仙市】	水位及び現地状況伝達、リエゾン派遣連絡
	18:24	【大仙市⇒湯沢河国】	水位及び現地状況伝達
	18:55	【湯沢河国⇒仙北市】	水位状況伝達、支援協力体制連絡
	18:58	【湯沢河国⇒横手市】	水位状況伝達、支援協力体制連絡
	19:01	【湯沢河国⇒美郷町】	水位状況伝達、支援協力体制連絡
	20:52	【大仙市⇒湯沢河国】	水位状況伝達
	21:44	【湯沢河国⇒大仙市】	水位状況伝達
	22:45	【湯沢河国⇒大仙市】	水位状況伝達
5月19日	3:30	【湯沢河国⇒大仙市】	現地状況伝達



▲湯沢河川国道事務所 災害対策室において各市町長とのホットラインを実施

＜緊急速報メールの配信＞

- 氾濫危険水位超過情報について緊急速報メールを配信。

災害発生時に地域住民の方々が適切な防災行動が行えるようにプッシュ型配信による情報提供を行うこととしており、今回発生した洪水において、昨年引き続きプッシュ型配信を実施。

5月18日 23:18 大仙市神宮寺（氾濫危険水位到達）

▼今回配信されたメール画面

緊急速報「エリアメール」

河川氾濫のおそれ
雄物川の神宮寺（大仙市神宮寺）付近で水位が上昇し、避難勧告等の目安となる「氾濫危険水位」に到達しました。堤防が壊れるなどにより浸水のおそれがあります。
防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど適切な防災行動をとってください。
本通知は、東北地方整備局より浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。
（国土交通省）

▼プッシュ型メールの例

スマホ等で取得

自分のいる場所の近傍の情報

ライブカメラ

洪水予報等の情報をプッシュ型で配信

自分のいる場所

河川水位

排水ポンプ車の効果(試算)

1. 排水ポンプ車による排水活動(大仙市^{はまちょう}浜町地区)



▲ 内水(宅地側にたまった水)を丸子川へ排水

排水活動による効果

- 排水ポンプ車(30m³/min)
約8時間稼働により、
14,790m³の内水を排水。
(25mプール約40杯分に相当)
- 仮に、排水が行われなかった
場合、周辺の地区においては、
約3haの浸水が発生したと想定。
- 今回の洪水では浸水被害が
発生しておらず、排水ポンプ車
による効果と推察される。



5/18	21:43	排水開始
5/19	5:56	排水終了

排水ポンプ車の効果(試算)

2. 排水ポンプ車による排水活動(大仙市角間川地区) かくまがわ



▲ 内水(宅地側にたまった水)を雄物川へ排水

排水活動による効果

- 排水ポンプ車(60m³/min)
約7時間稼働により、
24,360m³の内水を排水。
(25mプール約70杯分に相当)
- 仮に、排水が行われなかった
場合、周辺の地区においては、
約4haの浸水が発生したと想定。
- 今回の洪水では浸水被害は
発生しておらず、排水ポンプ車
による効果と推察される。



想定される浸水範囲
(浸水面積: 約4ha)
(浸水家屋数: 約8戸)

5/19	0:40	排水開始
5/19	7:26	排水終了

(参考) 支部体制・洪水予報・水防警報の発令状況

◆災害支部体制

	注意体制	警戒体制	非常体制	警戒体制	注意体制	解除
河川	5月18日 16時20分	5月18日 18時20分	5月18日 22時50分	5月19日 10時30分	5月19日 13時00分	5月20日 8時30分
砂防	5月18日 16時00分	5月18日 20時00分	—	—	—	5月19日 10時30分

◆洪水予報発表状況

河川名	観測所 (市町村)	はん濫 注意情報	はん濫 警戒情報	はん濫 危険情報	はん濫 発生情報	解除
雄物川	大曲橋 (大仙市)	5月18日 23時20分 レベル2継続	—	—	—	5月20日 8時50分
	神宮寺 (大仙市)	—	5月18日 21時15分	5月18日 23時20分 レベル4継続	5月19日 4時25分	5月20日 8時50分

◆水防警報発表状況

河川名	観測所 (市町村)	待機	準備	出動	解除
雄物川	大曲橋 (大仙市)	—	5月18日 19時50分	—	5月19日 15時00分
	神宮寺 (大仙市)	5月18日 16時30分	—	5月18日 20時30分	5月19日 15時00分



▲湯沢河川国道事務所 災害対策室の状況